

第7章 計画の推進

第7章 計画の推進

第1節 計画の進捗と評価

岩沼市水道事業ビジョンで整理した計画の進捗状況は、施設の運転状況や老朽管の残延長等の統計データなど、さまざまな観点から定期的に確認することが必要です。

特に、計画と実施状況が大きくかけ離れていることが懸念される場合には、事業推進に障害となる問題が起きている可能性もあり、その原因等を把握しておくことが重要となります。

さらに、計画実現に向けた進捗管理においては、その進捗状況と併せて施策の成果や事業への効果を把握しておくことも重要であり、計画の中間段階でのレビューにおける効果の把握には、(社)日本水道協会規格である「水道事業ガイドライン」の業務指標(PI: Performance Indicator)などの活用を図っていきます。

第2節 計画の見直し

岩沼市水道事業ビジョンは、50年～100年先というような長期的に本市水道事業の目指すべき将来像を見据えた上で、今後10年間(令和3年度～令和12年度)を計画期間として策定しています。しかし、計画の基礎となる計画水量については、現時点で想定される要因(人口動態、水使用実績等)に基づいて推計したものであり、今後の社会情勢の変化などの影響によっては大きく変化する可能性もあります。

また、施設整備の進捗状況や経営効率化への要求、さらには広聴活動の結果による市民のニーズなど、施策の進捗に影響を及ぼすような外的・内的な要因も考えられることから、中間における計画見直しについても柔軟に対応していきます。

このため、計画の推進にあたっては、図7.1に示すPDCAサイクルにより、『計画の策定(Plan)→事業の推進(Do)→達成状況の確認(Check)→改善策の検討(Action)』を繰り返し実施することにより、目標達成に向けた連鎖的な改善を進めていきます。

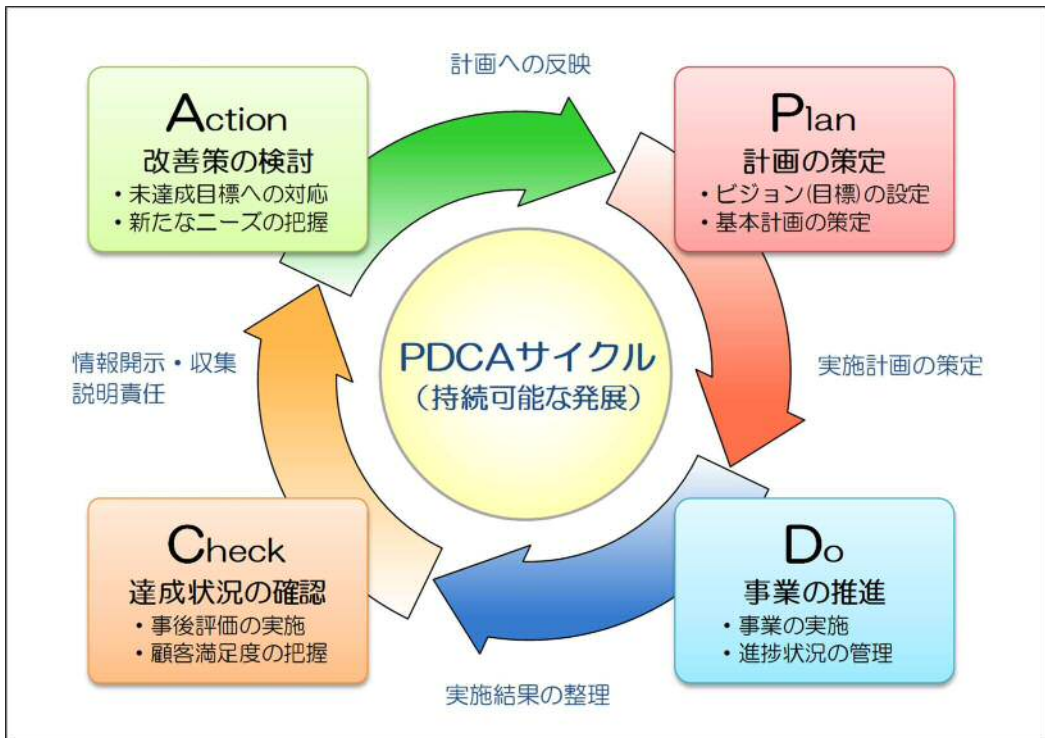


図 7.1 事業推進のPDCAサイクル